

山形県経済動向月例報告

(令和6年1月の経済指標を中心として)

令和6年3月15日

本県経済は、緩やかに持ち直しているものの、このところ弱含みの動きとなっている。

個人消費は、緩やかな回復傾向にある。

鉱工業生産は、弱含みの動きとなっている。

雇用情勢は、改善の動きが弱まっている。

目次

	ページ
I 山形県の経済動向	1
II 全国の経済動向	3
III 東北の経済動向	3
IV 各種経済指標	
第1-1表 百貨店・スーパー販売額	4
第1-2表 コンビニエンスストア等販売額	5
第2表 新車登録届出台数	6
第3表 新設住宅着工戸数	7
第4表 鉱工業生産・在庫・出荷指数	8
第5表 山形県主要業種別生産指数	9
第6表 山形県主要業種別在庫指数	10
第7表 新規・有効求人倍率	11
第8表 賃金・労働時間・雇用指数	12
第9表 企業倒産	13
第10表 消費者物価指数	14
第11表 公共工事請負金額	15
(参考) その他の経済指標	16

利用上の注意

- ・ 山形県経済動向月例報告は、各種経済指標をもとに、本県経済の状況をまとめたものです。
- ・ 数字の単位未満は、原則として四捨五入しています。
- ・ 指標の中には速報値を使用しているものがあり、翌月以降に確定値に遡及して変更する場合があります。また、季節調整等により数値が改定される場合や公表数値が不定期に訂正される場合があります。
- ・ 各種経済指標は、官公庁、団体、会社等の業務資料及び当該機関の刊行した統計資料等によるものです。
- ・ この報告の内容は、インターネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.yamagata.jp>

(ホーム > 県政情報 > 山形県の紹介 > 統計情報・オープンデータ > 経済動向 > 経済動向月例報告)

- ・ この報告の内容についてのお問い合わせは、下記をお願いします。

〒990-8570 山形市松波二丁目8-1

山形県みらい企画創造部統計企画課政策統計担当

TEL 023-630-2180 FAX 023-630-2185

先月との比較

	2月	判断の 変化方向※	3月
総括判断	本県経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。		本県経済は、緩やかに持ち直しているものの、このところ弱含みの動きとなっている。
個人消費	個人消費は、緩やかな回復傾向にある。		(同じ)
鉱工業生産	鉱工業生産は、このところ足踏みをしている。		鉱工業生産は、弱含みの動きとなっている。
雇用情勢	雇用情勢は、改善の動きが弱まっている。		(同じ)

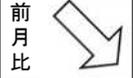
※矢印は基本的な傾向の変化を表しています。

I 山形県の経済動向

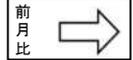
概況

本県経済は、緩やかに持ち直しているものの、このところ弱含みの動きとなっている。

判断の変化方向



判断の変化方向



◎ 個人消費 … 緩やかな回復傾向にある。

○ スーパー販売額は、全店舗ベースでは17か月連続で前年を上回ったが、既存店ベースでは8か月ぶりに前年を下回った。新車登録届出台数は、17か月ぶりに前年を下回った。

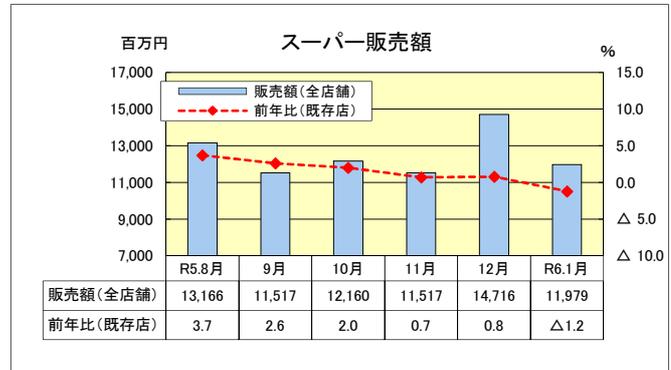
・スーパー等販売額（R6.1月、全店舗）

スーパー 11,979百万円
 （前年比・全店舗） 1.3%
 （前年比・既存店） △1.2%

コンビニエンスストア 6,937百万円
 （前年比） 0.9%

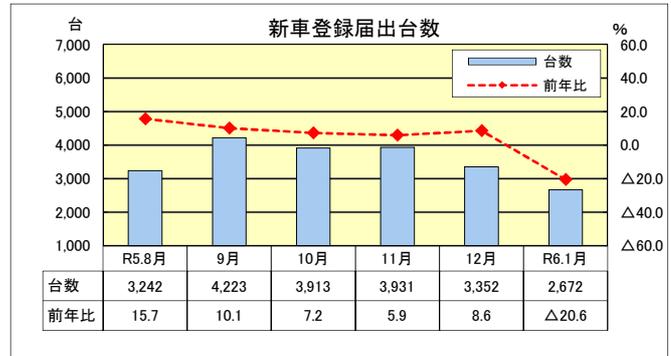
ドラッグストア 6,743百万円
 （前年比） 8.6%

ホームセンター 2,314百万円
 （前年比） △0.1%



・乗用車(軽を含む)の新車登録届出台数
 R6.1月 2,672台（前年比 △20.6%）

車種別
 普通乗用車 891台（前年比 △6.2%）
 小型乗用車 524台（前年比 △21.7%）
 軽自動車 1,257台（前年比 △28.0%）



○ 住宅建設 … 前年の水準を下回った。

○ 住宅建設は、持家、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体では3か月連続で前年の水準を下回った。

・新設住宅着工戸数

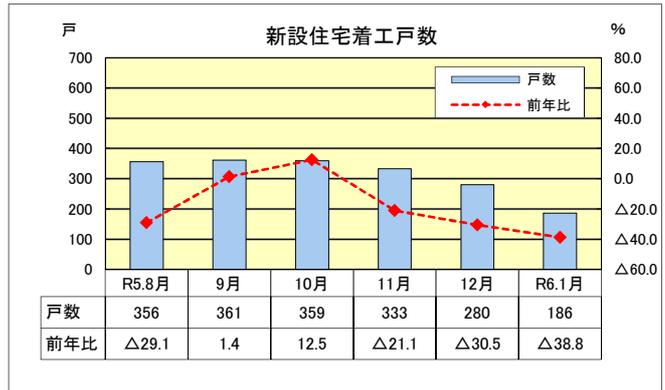
R6.1月 総戸数 186戸（前年比 △38.8%）

利用関係別（主なもの）

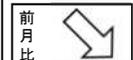
持家 97戸（前年比 △29.2%）

貸家 50戸（前年比 △50.5%）

分譲住宅 39戸（前年比 △40.9%）



判断の変化方向



◎ 鉱工業生産 … 弱含みの動きとなっている。

○ 鉱工業生産指数（季節調整済）は、汎用・生産用・業務用機械工業や金属製品工業などの生産が減少したことから前月比で2.3%低下し、2か月連続の低下となった。また、前年比（原指数）では8.7%低下し、7か月連続の低下となった。

・鉱工業生産指数（R5.12月）

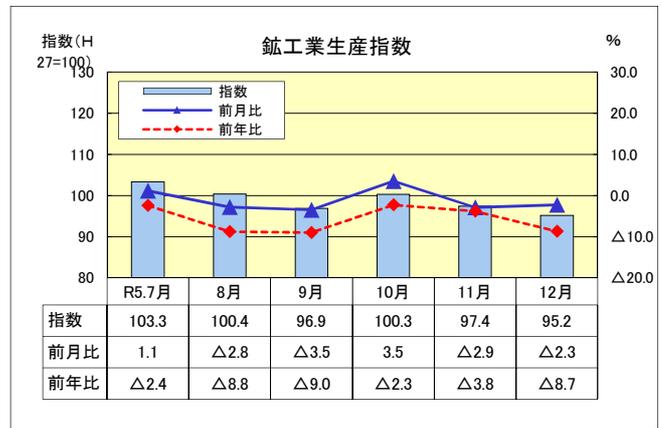
季節調整済指数 95.2（前月比 △2.3%）

原指数 99.5（前年比 △8.7%）

業種別（前月比）
 低下：汎用・生産用・業務用機械工業、金属製品工業など11業種
 上昇：食料品工業、情報通信機械工業など11業種

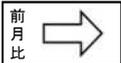
主な業種の生産指数

	前月比	前年比
電子部品・デバイス工業	112.7 (△0.4%)	0.5%
汎用・生産用・業務用機械工業	80.6 (△17.0%)	△34.7%
食料品工業	94.3 (7.6%)	△2.8%
情報通信機械工業	69.1 (17.1%)	△5.0%
輸送機械工業	113.2 (2.4%)	△3.4%
化学工業	154.0 (△1.5%)	3.3%
電気機械工業	102.6 (△4.6%)	△11.7%



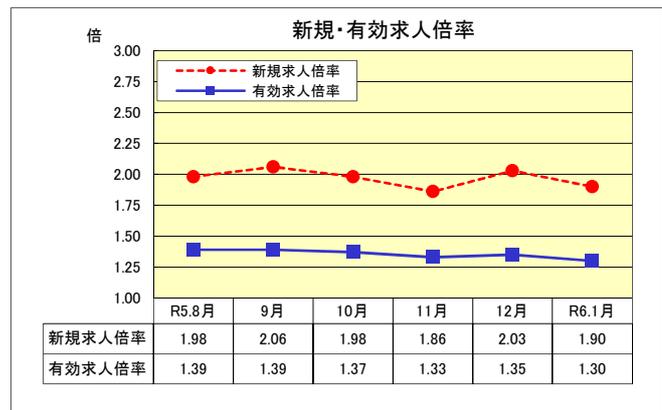
◎ 雇用情勢 … 改善の動きが弱まっている。

判断の変化方向



○ 有効求人倍率 (季節調整値) は、前月を0.05ポイント下回り1.30倍となった。

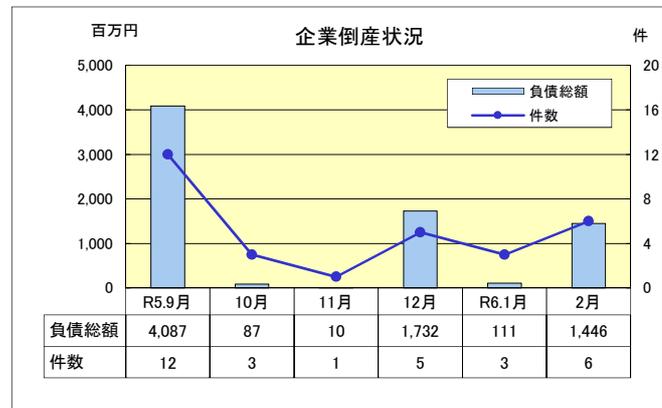
- ・雇用情勢 (R6.1月)
 - 有効求人倍率 1.30倍 (前月比 △0.05ポイント)
 - 〃 (正社員) 1.17倍 (前年比 △0.21ポイント)
 - 新規求人倍率 1.90倍 (前月比 △0.13ポイント)
 - 雇用保険受給者数 3,313人 (前年比 15.9%)



○ 企業倒産 … 件数は前年の水準を上回り、負債総額は前年の水準を下回った。

○ 企業倒産は、件数は前年の水準を上回り、負債総額は前年の水準を下回った。

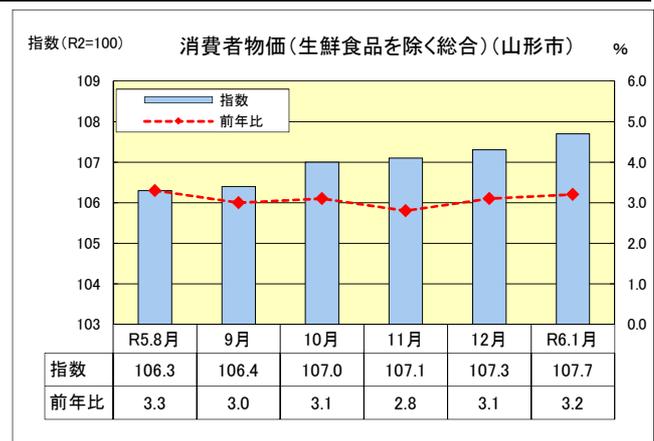
- ・企業倒産状況 (R6.2月、負債総額1千万円以上)
 - 件数 6件 (前年比 50.0%)
 - 負債総額 14億,4600万円 (前年比 △84.9%)



○ 物価 … 前年の水準を上回った。

○ 消費者物価指数 (生鮮食品を除く総合) は、前年の水準を上回った。

- ・消費者物価指数 (R6.1月、山形市)
 - 総合指数 108.3 (前年比 3.4%、前月比 0.5%)
 - 生鮮食品を除く総合指数 107.7 (前年比 3.2%、前月比 0.3%)
 - 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数 106.6 (前年比 4.4%、前月比 0.3%)



(注) 前年比とは前年同月比のことである。

II 全国の経済動向（内閣府 月例経済報告 令和6年2月21日）

（我が国経済の基調判断）

景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。

- ・個人消費は、持ち直しに足踏みがみられる。
- ・設備投資は、持ち直しに足踏みがみられる。
- ・輸出は、このところ持ち直しの動きに足踏みがみられる。
- ・生産は、持ち直しに向かっていたものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、このところ生産活動が低下している。
- ・企業収益は、総じてみれば改善している。企業の業況判断は、改善している。
- ・雇用情勢は、改善の動きがみられる。
- ・消費者物価は、このところ緩やかに上昇している。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

III 東北の経済動向（東北経済産業局 管内の経済動向 令和6年2月15日）

緩やかに持ち直している

鉱工業生産：持ち直しの動きがみられる

個人消費：緩やかに改善している

住宅着工：4か月連続で前年同月を下回った

公共投資：5か月ぶりに前年同月を上回った

設備投資：前年度を上回る見込み

雇用：有効求人倍率は前月と比べ横ばい

企業倒産：倒産件数は2か月連続で前年同月を上回った